

関連図書リスト(「海」に関する資料)

図書館名: 新潟県立図書館

番号	分類	書名	著者名	出版者	出版年	価格(税別)	紹介文(50字程度、ですます調)
1	481	はぐれイワシの打ち明け話	ビル・フランソワ / 著, 河合 隼雄 / 訳	光文社	2021	1,900	物理学者、自然保護活動家である著者の海洋エッセイです。海の生物の生態などが魅力的な語り口で綴られています。
2	686	海駅図鑑 海に見える無人駅	清水浩史 / 著	河出書房新社	2017	1,600	海に見える無人駅を「海駅」と名付け、全国30カ所の「海駅」を地域ごとに紹介するガイドブックです。巻頭には各「海駅」のカラー写真図版が掲載されています。
3	662	海に生きた百姓たち	渡辺尚志 / 著	草思社	2019	2,200	江戸時代の百姓＝農民、というイメージですが、海辺に住み、漁業を主な生業にしていた人たちも、身分としては百姓でした。そんな海に生きた百姓たちの暮らしや、江戸時代の漁業について深く触れた一冊です。
4	E	モリくんのすいかカー	かんべあやこ / 作	くもん出版	2012	1,320	美しい海岸線が続く柏崎市。ここ暮らす作者が描く、コウモリの「モリくん」シリーズで、海を舞台にした絵本です。熱い砂浜、どこまでも続く夏の海。柏崎の風景を感じながら楽しめます。
5	489	海獣学者、クジラを解剖する。	田島木綿子 / 著	山と溪谷社	2021	1,700	日本一クジラを解剖してきた研究者が、七転八倒の毎日とともに海の哺乳類の生態を紹介します。
6	913.6	青いスタートライン	高田由紀子 / 作	ポプラ社	2017	1,300	一夏を佐渡島で過ごすことになった少年・颯太が遠泳の大会にいく物語。きらきらとした海の景色と生き生きと泳ぐ少年たちの姿が印象的です。
7	481	永遠の海	中村征夫 / 著	クレヴィス	2017	2,000	水中カメラマンとして長年にわたり活躍している著者の写真集。カラフルで表情豊かな海の生きものや、深海生物の貴重な作品などが収められており、著者の海への愛情がひしひしと伝わってきます。
8	202.5	図説世界の水中遺跡	木村淳 / 編著	グラフィック社	2022	2,500	古代地中海から近代海戦までの様々な水中遺跡について、歴史や発掘調査の方法、遺物などが写真、イラストとともに紹介されています。
9	481.7	海のミクロ生物図鑑	西田百代 / 写真と文, 井田 齊 / 監修	仮説社	2020	2,400	チリメンジャコ漁の網の中に入ったカタクチイワシ以外の生物を、拡大した写真や成体の写真とともに紹介しています。
10	452	日本海その深層で起こっていること	蒲生俊敬 / 著	講談社	2016	860	北陸民にとって当たり前の存在の日本海。日本海がどうやって生まれ、今どうなっているのかを知っていますか。この本ならわかりやす〜く書かれているので気軽に読めますよー！
11	210.3	「海の民」の日本神話 古代ヤポネシア表通りをゆく	三浦 佑之 / 著	新潮社	2021	1,450	ヤポネシア＝日本の古代の表通りとする日本海側各地の姿を、神話などを元に紹介しています。
12	E	わたしのおふねマギーB	アイリーン・ハース / さく・え	福音館書店	1979	1,430	「おふねがほしい」とお星さまにお願いしたマーガレットは、弟ジェームスと海の旅を楽しみます。美味しそうな食べ物の絵に眼が釘付けです。
13	519	追いつめられる海	井田徹治	岩波書店	2020	1,500	海水の温度上昇と酸性化、プラスチックごみなど、陸上と比較して目に見えにくい海の問題について、世界各地の危機的な状況を紹介します。
14	452	海底探検の科学	後藤忠徳 / 著	技術評論社	2023	2,400	深い深い海の底を見てみませんか？最新の海底調査技術をもとに、海底からさらに深く地球の内部へ続く「探検」を紹介します。
15	550	MEGA-SHIP	西澤丞 / 著	太田出版	2017	3,241	海を渡るのに欠かせない「船」。どのように造られているのか、大迫力の写真とともに追ってみましょう！

# 関連図書リスト(「海」に関する資料)

図書館名：富山県立図書館

番号	分類	書名	著者名	出版者	出版年	価格(税抜)	紹介文(50字程度)
1	487	富山のさかな	魚津水族館／〔編〕	魚津水族館	2014	2,727	魚津水族館創立100周年記念誌として魚津水族館の職員が作成した図鑑。ブリやホタルイカから、リュウグウノツカイやユキフリンソデウオなどの珍しい魚まで、555種の多様な富山の魚を知ることができる。
2	454	海辺 生命のふるさと	レイチェル・カーソン ／著 上遠恵子／訳	平河出版社	1978	2,300	『沈黙の春』で知られる著者は海洋学者。岩礁、砂浜、サンゴ礁など多様な景色とそこに棲む生物など、海をめぐるあらゆる魅力を精細な挿絵とともに伝える。
3	748	神秘の海 富山湾	東澤光明／撮影 株式会社PCO／編	TC出版プロジェクト	2016	1,800	富山湾は、2014年に「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟しました。海越しに望む立山連峰の景観は世界でも稀なものです。美しい富山湾をご堪能ください。
4	455	魚津埋没林(魚津の自然シリーズ03)	打越山詩子著	魚津埋没林博物館	2023		1930年、富山湾内にある魚津港の工事中に発見された魚津埋没林。この本は魚津埋没林の歴史や、埋没林ができるプロセスなど詳しく解説しています。巻末の資料編には「日本各地の埋没林リスト」もあります。
5	455	蟹気楼のすべて!	日本蟹気楼協議会／著	草思社	2016	1,800	蟹気楼の第一級の名所である富山湾をはじめ全国各地に現れる蟹気楼を、美しい写真とともに、そのメカニズムや発生理由などの研究成果まで紹介した一冊。
6	487	原色日本海魚類図鑑	津田武美	桂書房	1990	38,500	日本海の魚をカラー図版で紹介する図鑑。解説にその魚の利用法(食用かどうか、味など)もあり、魚にまつわる話も多数掲載されている。
7	452	富山湾読本 富山湾を知る42のクエスチョン	藤井昭二、木原見、布村昇／監修 富山県、日本海学推進機構／企画	北日本新聞社	2012	1,500	富山湾は海岸から短距離で深海に至り、豊富な海洋資源に恵まれている。本書では、その成り立ちや自然、富山湾岸の歴史、文化、産業などについて詳細に記述されている。
8	484	ホタルイカは青く光る	阿部秀樹/写真と文	小学館	2021	1,300	富山湾の名物・ホタルイカ。春の夜、富山湾の海岸では、まるで青い光の波が押し寄せるような「ホタルイカの身投げ」という現象が見られます。青く光るホタルイカの不思議な生態を紹介する写真絵本です。
9	748	にほんの海 日本列島海中景色紀行	鍵井靖章／著	山と溪谷社	2002	4,200	日本各地の海のなかを撮影した、鮮やかな色彩が美しい写真集。沖縄から北海道まで、海中生物の生き生きとした様子が切り取られています。わたしたちの海の多様性を感じることができる一冊です。
10	484	ホタルイカ	山本勝博／著	桂書房	2016	1,300	退職後、「ホタルイカ解剖教室」を開く著者が、ホタルイカの神秘と謎をまとめたガイドブック。写真が多くわかりやすくまとめられています。
11	290	富山湾 豊かな自然と人びとの営み	秋道智彌・中井精一／編	桂書房	2020.9	2,300	地形や自然、信仰、方言など、富山湾を日本海学の視点から多角的に論じる。後ろ三方が山、前は海という地形が暮らしに深く関わっていることがわかる。
12	452	富山湾 神秘性とロマンの”宝庫”	藤井昭二／編	新興出版社	1997	5,000	国内有数の深さをもつ富山湾。自然や工業、漁業、歴史といった様々な角度から富山湾を分析した富山湾をよく知るための一冊。

## 関連図書リスト(「海」に関する資料)

図書館名： 石川県立図書館

番号	分類	書名	著者名	出版者	出版年	価格(税抜)	紹介文
1	933.7	シナモンとガンパウダー	イーライ・ブラウン	東京創元社	2022年	1,200	海賊船に拉致されて生き残るために、女海賊のために料理を作るという海洋冒険小説&お料理小説。面白さは抜群です。海上で限られた素材でどのように最高の料理を作るのかがポイントです。
2	686.21	海に見える駅	村松 拓	雷鳥社	2017年	1,500	有名な駅から無人駅まで、海に見える駅が集められています。海沿いを走る電車、というだけで旅情や風情を感じますが、特に無人駅となるとより物語性を感じます。写真も美しいですが説明も詳細で、訪れてみたくなる1冊です。
3	484	美しき貝の博物図鑑	池田等／著 松本泰裕／写真	成山堂書店	2017年	3,200	さまざまな色や模様、突然変異やハイブリッドまで、233種1,678個の美しい貝殻が掲載された図鑑。海辺に貝殻を拾いに行きたくなくなります。
4	934.7	海からの贈物(新潮文庫)	アン・モロウ・リンド バーグ著 吉田健一 訳	新潮社	1967年	539	1950年にアメリカの女性によって書かれた、ロングセラーの随筆集です。めまぐるしい日常をしばし去った離島の孤独の中で、女性の生の本質を見つめて書かれた文章。潮の香りとともに味わって読んでください。
5	913.6	破船(新潮文庫)	吉村昭/著	新潮社	2012年	520	ある海辺の寒村に伝わる夜の塩焼きの風習。その目的は、船を引き寄せ、座礁させて積荷を強奪、乗組員を皆殺しするためでした。衝撃の展開、入念な取材に裏打ちされた臨場感に圧倒されます。2022年本屋大賞「超発掘本！」受賞。
6	913.6	灯台からの響き	宮本輝/著	集英社	2020年	1,900	初老の男性が、日本各地の灯台をめぐり、現在や過去の自分や家族、友人たちとのことについて思いを巡らせる物語。船の航行の安全を守る灯台の描写から海を感じることができます。
7	291.09	日本の海賊 写真紀行	清永安雄/撮影	産業編集センター	2015年	1,500	戦国時代、「水軍」として組織されていた日本各地の海賊。その活躍を追い、来歴や歴史的な出来事とのかかわりなどを紹介しています。現在に続く史跡や風景の写真は、風光明媚そのもの。実は歴史のキーマンともいえる日本の海賊に、思いを馳せてみませんか。
8	748	海の辞典	中村卓哉/写真・文	雷鳥社	2012年	1,500	美しい海中写真を楽しみながら、海にまつわる言葉、名言、諺を知ることのできる辞典です。海の青と光に満ちた写真は、見ているだけでもリラックスできます。

9	369.34	潜匠	矢田海里/著	柏書房	2021年	1,850	事故や自殺、災害など、様々な理由で海に沈んだ人々を引き上げてきた潜水士の実体験を通して、過酷な現場の様子が生々しく描かれています。目を背けたくないような辛い現実と最短距離で向き合う姿には思わず頭が下がります。
10	404	センス・オブ・ワンダー(新潮文庫)	レイチェル・カーソン/著 上遠恵子/訳	新潮社	2021年	590	『沈黙の春』などで有名な著者による、甥と一緒に体験する自然への深い感動が綴られています。特に、海辺の別荘での体験の場面は、波の音が聞こえてくるようです。
11	289.3	海辺の宝もの	ヘレン・ブッシュ/著 鳥見真生/訳	あすなろ書房	2012.4	1,500	約200年前のイギリスで貴重な化石を発掘した実在の少女メアリーの伝記です。自分が美しいと感じた海の石を日々集めるうちに新種の化石を発見します。興味を持つ事、自分の感性を信じる大切さを感じさせてくれます。
12	202.5	水中ミステリー 海底遺跡と難破船	井上たかひこ/著	東京新聞	2023年	1,400	水中考古学という学問分野があります。この本では国内外の海底に沈む都市や難破船調査の様子が、水中考古学者である筆者によってわかりやすく描かれています。海の中にはまだまだ夢とロマンがつまっていると思うとワクワクします。
13	913.6	波のそこにも	末吉暁子	偕成社	2015年	1,600	失われた宝剣を求めて海の底を冒険するファンタジー小説です。児童書ですが、日本史を学んだ人や平家物語を知っている人ならさらに楽しめる要素があるので、大人の方もいかがでしょうか。
14	E	ターちゃんとペリカン	ドン・フリーマン/さく さいおんじさちこ/やく	ほるぷ出版	1975年	1,700	夏休み、海辺にキャンプにきたターちゃんは、さかなつりに出かけます。去年出会ったペリカンに、今年も会えるでしょうか。ターちゃんとペリカンの心温まる交流が描かれています。
15	E	うみのむこうは	五味太郎/作・画	絵本館	1979年	1,200	広い広い海。海の前で、女の子が海を越えた先に広がる世界を想像しています。色鮮やかな絵を楽しみながら、あなたも海の向こうに何かがあるのか、想像してみませんか。
16	913.6	海賊モア船長の遍歴	多島斗志之/著	中央公論社	1998年	2,300	17世紀のインド洋を舞台に海賊が活躍するワクワクドキドキの冒険小説です。無駄な殺生はしないモア船長をはじめとする海賊たちが魅力的です。続編も書かれています。

## 関連図書リスト(「海」に関する資料)

図書館名: 福井県立図書館

番号	分類	書名	著者名	出版者	出版年	価格(税抜)	紹介文
1	452	海	加古里子	福音館書店	1969	1,500	干潟から、頁をめくるとだんだん水深が深くなり深海へ。ここにすむ動植物や、人々の営み、南極や北極や、未来の海の牧場構想まで、海のすべてが描かれた本。
2	913.6	海の仙人	絲山秋子	新潮社	2004	1,300	海辺の街にひっそりと暮らす青年とふたりの女と出来そこないの神様・ファンタジーが奏でる切ない愛の物語。敦賀の美しい海が舞台です。
3	748	日本の海岸線をゆく	日本写真家協会	平凡社	2016	3,200	海岸線の風景だけでなく、漁業、観光、祭事、民俗などを、記録と表現の両面から撮影した、臨場感あふれる写真集。北陸の海の写真も収録されています。
4	913.6	獣の夜(「雨の中で踊る」)	森絵都	朝日新聞出版	2023	1,600	7つの短編集からなるちよつと不思議な読後感のある物語。1つめの「雨の中で踊る」は、ふとしたことでさびれた海を目指していた主人公が、自分の心の内と向き合っていく物語。
5	913.6	二百十番館によくこそ	加納朋子	文藝春秋	2020	1,600	二十代後半の「俺」は、ゲームにのめり込むニート。両親にも愛想をつかされ、とある島に追いやられてしまう。生きていくために「俺」は、同じようなニートと共同生活することを思いつく。前向きな気持ちになる物語。
6	502.1	そして、風が吹いた(プロジェクトX挑戦者たち 5)	NHKプロジェクトX制作班	日本放送出版協会	2001	1,700	1997年冬、ナホトカ号重油流出事故発生。船首が漂着した福井県三国町では、大勢のボランティアによる重油回収が行われた。その経過を放映した「よみがえれ、日本海 ナホトカ号 重油流出・30万人の奇跡」が本書に収録されている。
7	913.6	愛の幻滅(上下)	田辺聖子	講談社	2008	495×2	福井への一人旅に出かけた眉子は、電車の中で妻子ある東野と出会う。二人は夏休みに敦賀旅行に出かけ、海と民宿だけの田舎の生活を満喫する。文中、敦賀半島の海岸が美しく描写されている。
8	911.5	故郷の花	三好達治	創元社	1946	6	三好達治が雄島村(現坂井市)滞在中に刊行した詩集。タイトルは紀貫之の歌にちなんだもの。本書収録の荒涼たる海を感傷的に謳った「荒天薄暮」は、東尋坊の詩碑に刻まれている。
9	291.09	裏が幸せ。	酒井順子	小学館	2015	1,500	日本海側の県って地味だけど知られざる魅力がいっぱい! っていうことを再確認させてくれます。
10	468.8	DEEP LIFE 海底下生命圏(ブルーバックス)	稲垣史生	講談社	2023	1,100	宇宙を目指したプロジェクトは数多くあるが、海の底さらにその下に広がる海底下深部の探査はまだ未開拓。そんな世界に広がる生命圏について紹介。
11	481.7	日本の海大百科	倉沢栄一	TBSブリタニカ	2001	4,700	北海道から沖縄まで様々な海を紹介し、日本の海に棲むユニークな生き物を撮影した写真600点を掲載。
12	452	行ってみたくなる深海の図鑑	渡部裕美	KADOKAWA	2023	1,400	宇宙より近くて遠いふしぎな場所「深海」の子ども向け入門書。深海生物だけでなく、深海の絶景や最新鋭の探査技術や潜水艇についてわかりやすく解説し、未だ解明されていない謎やふしぎを紹介する